

事案名	第 1 1 海軍航空廠（呉）の事案（広島県 3 4 - 6）
フォローアップ調査資料	<ul style="list-style-type: none"> ・「化学戦資材ノ件回答」昭和 2 1 年 3 月 9 日〔 1 〕 ・「毒瓦斯及其ノ充填兵器処理ニ関スル件」昭和 2 0 年 9 月〔 2 〕 ・「日本海軍ニ於ケル化兵戦関係概況」〔 3 〕 ・『相模海軍工廠』 1 9 8 4 年〔 4 〕 ・Intelligence Report on Japanese Chemical Warfare Volume〔 5 〕 ・「各航空廠引渡目録」 2 / 2〔 6 〕 ・「化学兵器調査ノ件報告」昭和 2 0 年 1 1 月 5 日〔 7 〕 ・「旧軍毒ガス弾等の全国調査」のフォローアップ調査について〔 8 〕
追加資料	<ul style="list-style-type: none"> ・『呉の歴史』〔 A 1 〕 ・『呉市史』第 6 巻〔 A 2 〕 ・『日本海軍航空史（ 2 ）軍備篇』〔 A 3 〕 ・『呉市史』第 7 巻〔 A 4 〕 ・「呉軍需部第二区ノ図」（昭和 1 9 年 5 月 2 日）〔 A 5 〕 ・旧軍毒ガス弾等に係る旧軍施設関係資料の詳細調査について（平成 1 7 年 1 月 1 9 日）〔 A 6 〕 ・『平成 1 6 年度国内における旧軍毒ガス弾等に係る情報収集及び取りまとめ業務報告書』〔 A 7 〕 ・『平成 1 6 年度 B / C 事案における第 2 次地下水調査業務 報告書』〔 A 8 〕
平成 1 5 年度フォローアップ調査報告書の要約	<p>第 1 1 海軍航空廠（呉）には、終戦時、毒ガス弾等を大量に保有していたとの記載がある。</p> <p>生産・保有情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昭和 2 0 年 9 月 2 日現在、第 1 1 海軍航空廠（呉）は 6 0 k g ガス爆弾 1 1 , 3 4 1 発を保有していた〔 1 〕。 ・昭和 2 0 年 9 月 9 日現在、呉にはイペリット爆弾約 1 5 , 0 0 0 発が存在していた〔 2 〕〔 3 〕〔 4 〕。 ・終戦後に、第 1 1 海軍航空廠（呉）は 6 0 k g イペリット爆弾（ 6 番 1 号爆弾） 1 1 , 3 4 4 発を保有していた〔 5 〕〔 6 〕〔 7 〕。 <p>現在の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第 1 1 海軍航空廠跡地は、主に工業用地、商業用地、鉄道用地、公共用地、米軍の弾薬庫、官舎となっている。住居は官舎のみ確認されている。当該範囲は上水道給水区域である〔 8 〕。

<p>新たな情報</p>	<p>その他情報</p> <p>(1) 第 1 1 海軍航空廠に係る情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昭和 1 6 年 1 0 月 広に第 1 1 海軍航空廠が設立され〔 A 1 〕、昭和 2 0 年 6 月には広海軍工廠が第 1 1 海軍航空廠に合併された〔 A 1 〕。 ・第 1 1 海軍航空廠の本廠は、広に存在したとの記載がある〔 A 2 〕。 ・第 1 1 海軍航空廠呉補給工場は、呉に存在していたとの情報がある〔 A 3 〕。また、呉には第 1 1 海軍航空廠補給部が存在したとの情報がある〔 A 4 〕。ただし毒ガス弾との関連は不明である。 <p>(2) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旧第 1 1 海軍航空廠との関連は不明だが、第 1 1 海軍航空廠が存在した地区の施設図（呉軍需部第 2 区の施設図）に「瓦斯容器庫」が示されている〔 A 5 〕。なお、その施設については、昭和 2 0 年調の呉海軍軍需部施設図に、当該施設が存在していないことを示すものがある〔 A 6 〕。 <p>(3) 現在の情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旧第 1 1 海軍航空廠の本廠が存在していた広地区は、主に工業用地や米軍施設として利用されている〔 A 7 〕。 ・旧第 1 1 海軍航空廠補給部が存在した宝町地区は、主に工業用地として利用されており、一部商業用地、鉄道等となっている〔 A 7 〕。 ・環境省が実施した地下水調査の結果、毒ガス関連成分は検出されなかった〔 A 8 〕。
--------------	--